

フェノロジー調査の生育状況判定の定義

(2009.11.8)

(1) 樹木の葉

- ① 冬芽 →全体が芽りん葉に覆われている状態（開芽ゼロの状態）
- ② 開芽 →芽りんが開いて中から葉が見える状態から完全に開く（展葉）までのことで、展葉が、樹木全体の20%程度までの状態
- ③ 展葉 →展葉が、樹木全体の30%程度～100%の状態
- ④ 紅葉始め →色づいた葉（紅葉）が発生し、紅葉が全体の20%程度までの状態
- ⑤ 紅葉盛り →紅葉が樹木全体の30%程度～100%の状態
- ⑥ 紅葉過ぎ →落葉が始まった状態
- ⑦ 落葉 →紅葉より落葉が目立つ状態から大部分が落葉するまでの状態

(2) 樹木の花

- ① つぼみ →開花ゼロの状態（芽りん葉で覆われている状態。花芽のつぼみは葉芽より大）
- ② 開花 →一輪でも開花した状態から樹木全体の7分咲き程度の状態
- ③ 満開 →開花が樹木全体の8分咲き～全部開花の状態
- ④ 満開過ぎ →落花（しなびた花弁・柱頭・葯が付着等状態）が全体の10%程度までの状態
- ⑤ 花終わり →全体の20%程度以上が落花（しなびた花弁・柱頭・葯が付着状態）の状態
- ⑥ 結実 →果実がついた状態（「花終わり」中であっても「果実」を優先判定）
→（少ない、並、多い、に分類）
- ⑦ 花・実無し →果実がなくなり、つぼみもまだついていない状態

(3) 草本類

- ① つぼみ →開花ゼロの状態（花芽はガクに覆われている状態）
- ② 開花 →一輪でも開花した状態から開花が全体で70%程度の状態
- ③ 満開 →開花が全体の80%程度～100%の状態
- ④ 満開過ぎ →落花（しなびた花弁・柱頭・葯が付着等の状態）が全体10%程度の状態
- ⑤ 花終わり →全体の10%程度以上に、しなびた花弁・柱頭・葯が付着等の状態
- ⑥ 結実 →果実がついた状態（「花終わり」中であっても「果実」を優先判定）
→（少ない、並、多い、に分類）

※1、生育調査の判定は、単体生育植物、複数生育植物に係わらず調査対象植物全体を見て行う。

※2：開花とは、花弁または花冠が展開したとき。（イネ科等は、柱頭または葯が露出した時期）

※3 「花」の判定基準は、フェノロジー栃木（栃木県内のフェノロジー調査情報交換基地）を参考にした。

(2007.03.30) 初版

(2009.11.08) 状態を表す表現の変更（記録表の表現と統一させただけで、判定基準の変更なし）